

21年度 臨時運営委員会だより

開催日：2022-6-24(木) 於：かこむ 創作工房 A 18:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、砂川(延)、荘所、高島、徳本、春本、藤本、藤原(千)

待場：松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 第22回定期総会の議案書の検討

- ① 内容は、最終の草案通りで特に問題はない。
- ② 年度表示に関して、今年、今年度、次年度等紛らわしい表現があり、表現を見直す。
- ③ かこむでは、会員の会費等の集金は行っても問題ない。(営利事業での徴収は不可)

(2) 会則の改訂箇検討について

① 労山基金細則：加入口数 3口以上

改正案 2. 加入口数は、3口以上を基本とします。

8月31日現在、1年以上在籍していた会員については、1口分

(1,000円)を会財政で負担する。

② 山行規定細則：(1) 近郊とは桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。

改正案 (1) 近郊の山とは朝日山、善防山、笠松山及び桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。

③ 会費細則：1) (入会金) 入会金は、会費1か月分とします。

※新規提案 改正案 1) (入会金) 入会金は、会費1か月分とします。

(再入会は、入会金なし)

(3) 来期の運営体制について

- ① 来期の運営体制は、基本的に現状のままで活動する。
- ② 遠方からの行事参加や新規会員の増加等を勘案し、3地区分割の検討を進める。

(4) 納山会について

- ① 12月10(土)～11日(日)で新たんば荘に40名で仮予約をしている。
- ② 乗・降車場所は、例年通り播磨中央公園・JR加古川・JR宝殿・山電高砂を予定している。
- ③ 登山コースは、今後検討していく。

(5) 県連関係

- ① 自然保護委員会委員長：須増が就任
- ② 六甲全山縦走大会：準備委員会を立ち上げ、一般登山者も募集し入会を促す。
- ③ トイレ問題：2か所をターゲットに新たに取り組む。
- ④ 会員高齢化：ゆっくりズムやトレッキング主体に取り組む部署を考える。
- ⑤ コロナ禍：年内収束か？海外登山担当を視野に入れていく。
- ⑥ 夏山集中山行に参加する会員には万一の事故に備えて労山基金には5口加入を推奨したい。

21年度 第11回運営委員会だより

開催日：2022-6-11(土) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、瀧原
徳本、野村、春本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、矢根、和田

議題

- (1) 第22回初めての山歩き教室取り組みその後
 - ① 座学が終了し、最後の実技を6月12日(日)六甲ロックガーデンで行う。
 - ② 6月25日(土)～26日(日)に氷ノ山にて終了山行を行う。
- (2) 夏山集中・上高地の取り組み方確認
 - ① 8月21日(日)上高地西糸屋山荘で集中し、参加者は50名となっている。
 - ② 3コースのリーダーが須増から森本に替わり、上高地～槍ヶ岳ピストンコースに変更する。
 - ③ 帰路の大型バスは、補助席を使用して51席であり、一部JRでの帰宅希望者が出ている。
 - ④ 最終降車場所に姫路駅南口を追加した。
- (3) 山本正嘉先生(鹿屋体育大学)の講演会の取り組みについて
 - ① 高砂市文化保健センターにて10月10日(月)午後開催で進める。
 - ② 明石山の会、HCはりまに連絡済み。県連が協賛の意向あり。
 - ③ 「登山の運動生理学とトレーニング学」から登山と疲労の関係等を依頼する予定である。
- (4) 第22回定期総会の議案書の進捗状況と当日の日程について
 - ① 7月2日(土)9時から12時 かくむの講座研修室で開催する。
 - ② 臨時運営委員会を6月24日(金)18時からかくむの創作工房で開催する。
 - ③ 議案書の追加：山裾散策部隊や3地区分離の方向性について追加する。
- (5) 会則の改訂箇所検討について
 - ① 新特別基金細則 加入口数3口以上
改正案 2. 加入口数は、3口以上を基本とします。
8月31日現在、1年以上在籍していた会員については、1口分(1,000円)を会財政で負担する。
 - ② 規定細則 (1) 近郊の山とは桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。
改正案 (1) 近郊の山とは朝日山、善防山、笠松山及び桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。
- (6) 安全対策
 - ① 救急セットの支給・入れ替えは、2年ごとに実施、各3万円の予算を確保する。
新運営委員決定後の9月か10月に行う。
 - ② 救急救命講習会は、10月2日(日)午後1時30分から加古川市防災センターで行う。
- (7) 労山山岳事故対策基金の継続手続きについて
・6月の例会で集金するが、7月は定期総会でかくむでは集金できないので封筒に入れて提出してもらう。8月の例会が最終である。
- (8) 会計報告
・遭難対策積立と記念事業費積立は、積立残高が50万円で打ち切るようにする。
- (9) 今年の納山会は
・12月10日(土)～11日(日)に新たんば荘で行う。
・登山コースは、別途検討する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

21年度 第10回運営委員会だより

開催日：2022-5-8(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾越、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、瀧京、徳本、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 第22回初めての山歩き教室取り組みその後
 - ① 実技のみの受講生を含め25名となった。
 - ② 座学2回、実技1回を終了した。
 - ③ 6月5日は、市ノ池研修棟で姫路地区の高御位例会を見学の後、高御位山を登る。
- (2) 夏山集中の日程と山行先
 - ① 8月21日(日) 上高地西糸屋山荘で集中する。
 - ② 本日の募集結果は、①焼岳：11名、②常念岳・蝶が岳：14名、③表銀座-槍ヶ岳：4名、④穂高(アルプ)：4名、⑤上高地：3名、⑥：乗鞍岳：3名、⑦蝶が岳(テント泊)：4名、⑧蝶が岳：6名の49名であった。
 - ③ 帰路はアルピコ交通バス(定員最大60名)を予約済み。6月の追加募集後、対応をまとめる。
- (3) 山本正嘉先生(鹿屋体育大学)の講演会の日程の設定の取り組み方
・高砂市文化保健センターにて10月10日(月)午後開催で進める。
- (4) 第22回定期総会会場と日程
 - ① 7月2日(土)9時から12時 かくむの講座研修室で開催する。
 - ② 臨時運営委員会を6月24日(金)18時からかくむの創作工房で開催する。
- (5) 会則の改訂箇所検討について：下記内容で討議した。
 - ・新特別基金細則 2. 加入口数は、特別な事情のない限り3口以上とします。
 - 改正案 2. 加入口数は、3口以上を基本とします。
8月31日現在、1年以上継続在籍していた会員については、次期新特別基金3口分(会員としての基本加入分)3,000円のうち1口分(1,000円)を会財政で負担する。
※なお、3口未満も認められるが、3口以上厳守と誤解される恐れがあるため、下記の箇所を削除する提案があった。
~~次期新特別基金3口分(会員としての基本加入分)3,000円のうち~~
 - ・規定細則 (1) 近郊の山とは桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。
 - 改正案 (1) 近郊の山とは朝日山、善防山、笠松山及び桶居山を含む高御位山近辺の山と飯盛山近辺の山をいう。
- (6) 新井中学校のトライやるウィークの生徒受け入れ要請について
・六角光昭先生が来宅された。今年は生徒を受け入れることとする。
- (7) 東北大震災から11年目
・石巻市の被災地の現状視察：支援を行った地域の視察を秋以降に検討する。
- (8) 県連定期総会提出資料(常任理事・理事推薦、代議員登録、議案書必要部数)
・常任理事に須増・理事に森本を推薦する。代議員は、森本、小田、徳本、乙坂を登録する。議案書必要部数は、運営委員数28部で依頼済み。
- (9) 6月5日の姫路・加西の例会、6月11日の高砂の例会・土曜トレ
 - ・6月5日(日)は高砂市総合体育館が使用できないので、姫路・加西地区は、6月5日に例会を行い、6月11日(土)に総合体育館で高砂地区の例会と運営委員会・山行計画委員会を行う。6月11日の土曜トレは、姫路・加西地区のみとする。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

21年度 第9回運営委員会だより

開催日：2022-4-3(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、瀧原、徳本
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 第22回初めての山歩き教室取り組みその後

- ① 担当者会議を3月26日(土)市ノ池研修棟で開催し、座学・実技・終了山行を確認した。
- ② 神戸新聞の掲載で応募者が増加し、13名が確定で2～3名の問い合わせがあった。
- ③ 情報伝達の円滑化のために、パソコンがなくE-Mailアドレス未登録の会員に携帯のアドレス登録の可否を確認する。

(2) 夏山集中の日程と山行先

- ① 8月21日(日)上高地の西糸屋山荘集中で40名の予約済である。
- ② 山行先：常念岳(上田)、上高地周遊(佐々木)、焼岳(砂川)、表銀座(須増)、穂高・涸沢(竹内)、蝶ヶ岳・テント泊(藤本)、蝶ヶ岳(藤原)、乗鞍岳(野村)が提案されている。
- ③ 5月8日の高御位例会で募集を行う。
- ④ 帰路の大型バス(アルピコ交通)：40名で467,000円の見積りを入手している。

(3) 会報「高御位」の編集方について

・会報は、高御位山遊会の活動の柱であり、発足当初から途絶えることなく引き継いできた財産である。編集委員は原稿募集や、編集・印刷・製本等で苦勞しており、会員だより等が依頼された場合は、極力納期厳守で協力願いたい。

(4) 第22回定期総会会場と日程

- ① 7月2日(土)かこむの講座研修室で9時から会場設営、9時半から開始の予定である。
- ② 6月24日(金)に臨時運営委員会で議案書の最終確認を行う。場所は別途決定する。
- ③ 鹿屋体育大学の山本正嘉教授の講演会は、11月を目途に明石山の会、HCはりまに打診し進めていく。

(5) 登山口でリーダーが確認すること(須増案)について

- ① 役割分担・靴紐・衣類・ストックなど・・須増案を数項目に絞り込む。
- ② 須増案は、リーダーの心得として活用する。

(6) その他

- ① 労山基金の募集・集金を6月の高御位例会で行うが、体力的に山行が困難な会員は、規定の3口加入を免除することについては、総会で会則改訂承認後に口数の見直しを行う。
- ② 総会での高御位例会・例会山行参加者の表彰廃止に基づき、各集計表の作成は行わない。
- ③ 県連春山連絡会：高御位山遊会は該当する山行はないが、野村が参加して討議内容を確認する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

21年度 第8回運営委員会だより

開催日：2022-3-6(日) 於：ユーアイ帆つとセンター 13:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、荘所、瀧原、竹内、徳本、春本、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 初めての山歩き教室・受講生募集チラシ
 - ① 各新聞社に依頼済み。神戸新聞社のみ問い合わせがあったが未掲載で今年は期待薄。
 - ② 各地区の配布先からも反応がない。ウエルネスはチラシがなくなり補充した。
 - ③ 知り合いからの紹介が2名あった。
- (2) 夏山集中の日程と山行先
 - ① 上高地の西糸屋山荘に8月21日(日)か22日(月)集中とする。
 - ② 収容人数は、コロナの関係で最大40名となっている。(別館：4名x10部屋)
 - ③ 取り敢えず、西糸屋山荘に40名で予約しておく。
 - ④ 参考に帰路の足として現地のアルピコ交通に見積もりを依頼している。
 - ⑤ 来月の高御位例会で山行提案を出せる様にコース・リーダーが考えておく。
- (3) 会員の高齢化と「ゆっくりズム山行」の設定は？

※誰でもが参加できる、受け入れることができる山行計画、リハビリ山行、山のすそ野巡り、酒蔵巡り、西国街道、美術館・博物館巡りなどなどが立案できる高御位山遊会へ ※グループを作っては？

・想定されるメンバーに声を掛けてミーティングを行い、今後の進め方を検討する。(担当：砂川)
- (4) セカンドステップ講座補講について

・富士山の1合目からの登山の計画書作成を講座の中で実習し、実際の山行に活用していく。
- (5) 入山前に確認事項を・装備点検他 ストックの輪っかの使い方、靴紐の結び具合、山行行動中に休憩でなくても勝手に止まること等々

・山歩き前のストレッチ前後に安全面について事前に点検しておく。
⇒安全対策部で確認項目のチェックリスト(案)を作成する。
- (6) 県連常任理事会報告
 - ① 全国連盟総会(2月19～20日)：川嶋事務局長が新理事長に就任した。
 - ② 兵庫労山の総会：6月12日の予定。3月～4月に議案書を作成する。
 - ・2月の大山北壁登頂後死亡事故・高齢化対策・組織問題・会員減少対策・全縦トイレ問題。
- (7) その他
 - ① 高森ボランティア：3月19日は、平荘湖 黒岩山の登山道の整備を行う。
 - ② 7月の定期総会：
 - ・かこむの講座研修室で午前中に行う。7月3日がだめなら7月10日とする。
 - ・駐車場に限りがあるため、市ノ池等で集合して乗り合い台数削減を検討する。
 - ・山本先生の講演は、県連・東播地区にも呼び掛けて秋季に計画する。
 - ③ 花見：
 - ・3月6日現在の参加者は、35名である。
 - ・担当：弁当(小田)、集金(小田、島谷)、会場準備(荘所)、買出し(尾内、藤原、待場)

全国・県連盟の行事その他の取り組み

21年度 第7回運営委員会だより

開催日：2022-2-6(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須曾、瀧原、竹内、徳本
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 初めての山歩き教室・受講生募集チラシ

- ① 募集チラシは、かこむにて300枚印刷済み、各担当者に配布した。
- ② 神戸新聞・読売新聞に掲載の依頼済み。朝日・読売には別途依頼する。
- ③ 姫路市のミニコミ誌(LIVING)は、掲載条件が厳しく断念した。

(2) オミクロン株の拡大による今後の山行活動の可否は？

- ① 今まで通り、リーダーの判断に一任する。
- ② 六甲全山縦走大会への参加は、状況次第で判断する。
- ③ 毎週土曜日を土曜トレとする。
 - ・第1・5土曜日は、市ノ池集合で高御位山に登る。
 - リーダー・コースは、当日決定する。
 - ・第2・4土曜日は、従来通り土曜トレ委員会の計画通り行う。
 - ・第3土曜日は、高森ボランティアとの合同とし場所は都度検討する。

④ 山行規定：6. 山行規定細則

「(1) 近郊とは桶居山を含む高御位山近郊の山と飯盛山近辺の山を言う」
に善防山・笠松山の追加を定期総会時に規定を改定の予定。

(3) 会員の高齢化と「ゆっくりズム山行」の設定は？

※誰でもが参加できる、受け入れることができる山行計画、リハビリ山行、山のすそ野巡り、酒蔵巡り、西国街道、美術館・博物館巡りなどが立案できる高御位山遊会へ ※グループを作っては？
・山行計画委員会との絡みで、「ウォーキング部」等を作ってはどうか？今後の検討課題である。

(4) セカンドステップ講座補講について

- ① 新任運営委員を対象に、パソコンでの山行計画書・地形図・概念図の作成を中心に進める。
- ② 各自のパソコンのソフトの違いで、統一した講座の困難が予想されるので、現状把握が必要である。
- ③ 必要時には、個別の講座も検討する。

(5) 今年の学習会は？

- ① 今年の受講生は、4名で善防公民館で3月の第1・第3火曜日から開始する。
- ② 天気図の描き方重点でなく、使い方の中心に進める。

(6) その他

- ① 今年の夏山は、上高地西糸屋山荘集中で行う。
- ② 観涛処の樹木伐採について：2月1日・2日で業者による周辺の伐採が完了した。
教育委員会からは、今後の枝の伐採を依頼されており検討していく。
- ③ 花見の募集：3月の高御位例会で募集を行い、4月の例会で集金する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

21年度 第6回運営委員会だより

開催日：2022-1-9(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、垣内、佐々木、島谷、砂川(延)、須曾、荘所、高島、瀧原
徳本、野村、春本、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 初めての山歩き教室・受講生募集チラシ

※マスコミ関係への依頼(本局と支局)・姫路ミニコミ誌「LIVING」等へは2月に。

- ① 座学・実技・終了山行が決定し、募集チラシは完成した。
- ② チラシの配布先：市民センター・高御位山神社・好日山荘・長尾案内所・かこむ等

(2) 4月9日(土)花見高御位例会

- ① 午前中は、高御位山で合同土曜トレを行う。
飲酒を考慮して、JR曾根駅発着のバスに合わせ10時15分集合とする予定。
- ② 午後1時より公園墓地上方の広場にて行う。弁当・飲み物・つまみを準備する。

(3) 高御位例会・三地区合同で開催を1月、4月、7月、10月で検討しては？

※恒例の清掃登山リーダーは？

- ① 合同高御位例会を1月・4月・7月・11月に行う。(7月は定期総会となる)
- ② 清掃登山のリーダーは、三地区分割時は各地区の責任者に一任する。
- ③ 三地区合同の時は、その都度コースとリーダーを決定する。

(4) 3月の県連・六甲全山縦走大会への取り組みについて

※県連は、統一デーとして3月13日(日)に設定、各会で独自に取り組む方向

- ① 3月5日(土)の六甲西半縦と六甲分割縦走⑤ゆっくリズムを3月13日に変更する。

(5) 会員の高齢化と「ゆっくリズム」の設定を

※誰でもが参加できる、受け入れることのできる山行計画、高御位山遊会へ
リハビリ山行、山のすそ野巡りなども？

- ① 激しい山行がむつかしい会員も参加できる様な名所旧跡巡り等も計画に入れていく。

(6) その他

- ① 山行計画の追加：スノーシュー上高地(3/9水～11金)、氷ノ山スズコ狩り(5/26木～27金)
- ② 今年の夏山：上高地・北アルプス方面で取り組む方向で進める。
・新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染状況により変更の可能性もある。
- ③ 1月15日(土)の高森ボランティアは、豆崎登山口からの登山道の整備を行う。
- ④ セカンドステップ講座：受講科目を絞り、教室・セカンドステップ修了生に募集を行う。
- ⑤ 救急救命講習会：6月受講可能か加古川市防災センターに確認する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟：常任理事会報告

20年度 第5回運営委員会だより

開催日：2020-12-6(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：尾内、大谷、垣内、佐々木、澤田(律)、島谷、砂川(延)、須増、荘所、瀧原、竹内
野村、平井、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田、渡邊

議題

(1) 山行先アンケート調査結果について

①希望山行先は113ヶ所であった。

また、5名からアンケートリスト以外の希望山行先として21ヶ所の提案があった。

②アンケート結果を今後の山行提案に活用していく。

(2) 第21回「初めての山歩き教室」の取り組みについて

①新型コロナウイルスの影響も考慮しながら、21年度第21回「初めての山歩き教室」に取り組む。

②12月12日土曜トレの後、善防公民館で専門委員会を開催する。

(3) 会員名簿確認作業の件

①入会届で登録している緊急時連絡先について、変更後に更新されていない場合があり、確認作業を行う。

②1月号で予告を行い、2月・3月の高御位例会で実施する。(島谷・木村・瀧原)

(4) 山行用車両登録リスト更新の件

①山行時に分乗して自家用車を利用する場合(集合場所へ行く時も集合場所から登山口へ行く時も)、車両利用規定通りの登録車両を使用すること。

②往路の運転手が、山行中の事故等で復路を運転できない場合も想定し、車両利用規定通りの保険契約の成立している登録車両となっていることを確認する。

(5) ユーアイ帆っとセンター予約条件の件

①新型コロナウイルスの感染拡大の影響で収容人数が制限され、定員の半数しか利用できない。

②セカンドステップ講座での使用は、交流スペース1で定員30名に対し15名厳守のため、専門委員は、当日の担当者限定を検討する。

(6) 会計中間報告について

・特に問題はなかったが、印刷費が予算額に対して大幅に少ないとのコメントがあった。

(7) その他

①会員証更新の件：更新手続きを完了した。(現会員証有効期限：2020年12月31日)

②天下台山からの山行先変更の件：カキ祭り中止のため、御津アルプスに変更した。

③観瀾處の伐採作業の件：教育委員会での伐採後の来年12月中旬に現地確認を行う。

④運営委員会の開催を市ノ池研修棟で出来ないか検討する。(現在最大20名と言われている)

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟・第6回常任理事会：11月24日報告

車両利用規定「山行時の自動車使用に関する規定」

高御位山遊会

第1条（目的）

本規定は、山行時の交通手段に、自家用車(以下車両という)を利用する上で、車両所有者の負担の軽減や、事故防止、また、万が一事故が発生した際の処置、費用の算出および、法的問題の解決などをスムーズに進めることを目的として定める。

第2条（対象）

山行規定に定める例会山行について本規定を適用し、個人山行についてはこの規定の定めるところではない。

第3条（規定の適用）

本規定の適用に際し、次の項目について最低限満たしていなければならない。

1. 第2条に定める山行であること。
2. 利用する車両は、保険契約の成立(任意保険の対人、対物や同乗者に給付される保険)している車両で「山行用乗用車登録票」が提出されているものであること。

第4条（費用）

車両を使用した山行の場合、次の事項については同乗者数により均等に分担する。

1. ガソリン代 実費
2. 有料道路代 実費
3. 駐車料金 実費
4. 車両使用料 走行距離1kmあたり10円(端数などについては会計担当者に一任)

第5条（違反、事故などの処理）

事故、違反などのトラブル発生時における費用の取り扱いについては、次の事項による。

1. 交通違反は原則として運転者の責任とする。ただし、駐車違反等運転者だけの責任ではない時は、同乗者との協議による。
2. 事故を起こした場合、その費用は車両所有者の保険にて処理することを原則とする。
なお、保険で処理できない範囲については、会及び同乗者へ請求しない。
3. 運転中の事故については、同乗者は運転者及び車両所有者へその責任を問わない。
4. 駐車中の盗難、破損等については2項に準ずる。

第6条（会の責任）

事故の責任は、法的に事故を起こした本人に定められており、何人もこれを肩代わりできない。よって、会としては助言の域を出ず責任は一切負わないこととし、全て当事者および、その同乗者に帰する。

第7条（その他）

1. 山行計画書に運転者、車両の所有者の氏名を記載する。
2. レンタカーを使用する場合も、上記規定を準用する。
3. 山行に使用する車両の提供者は所定の車両登録票へ必要事項を記入し、山行指導部はこれを管理する。
4. 営業バス利用時のキャンセル料金の請求について
・原則として日帰り山行は3日前、宿泊山行は7日前から、実費相当額をキャンセル料金として請求する。
5. 会のその他行事についても上記規定を準用する。

付則

この規定は2010年12月12日から施行され、2011年12月4日、2014年1月12日、2015年7月5日一部改訂して施行する。

21年度 第4回運営委員会だより

開催日：2021-11-7(日) 於：かこむ「創作工房B」 13:00～

出席者：尾内、尾越、小田、垣内、佐々木、島谷、砂川(延)、須尊、荘所、竹内、徳本、野村
春本、平井、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 初めての山歩き教室担当者会議について
 - ① 2022年度は、姫路地区で開催する。
 - ② 11月27日の土曜トレの後でウエルネスクッキングスタジアムにて担当者会議を行い、今後のスケジュール・担当者を決める。
- (2) 今月の高森ボランティア
 - ① 11月20日に市ノ池に9時集合。
 - ② 緑の相談所からの登山道の急坂の草狩りを行う。
 - ③ キャンプ場横の登山道の雨水による浸食部を見極め、補修方法を検討する。
- (3) 三役会議の定例化について
 - ① 11月から毎月末に定例化し、翌月の運営委員会の協議事項の事前打ち合わせを行う。
- (4) 県連盟・代表者会議(11月25日)の出席者について
 - ① 19時より県民会館にて開催される。
 - ② 議題として7月10日の定期総会以降の懸案事項である下記2項目について、各会代表者の意見を基に今後の方向付けを行う。
 - ㊦「六甲全山縦走大会」：送付済みのアンケートを基に討議を行う。
 - ㊧「六甲山トイレ設置問題」：トイレ設置問題検討委員会での討議内容の中間報告。
 - ③ 出席予定者：尾内、三木(悦)、尾越
- (5) その他
 - ① サブザックの件：希望者は13名、今後価格・納期等の詰めを行う。
 - ② 12月山行計画委員会での山行提案については、山行先、募集人数の制限を行わない。
 - ③ 高御位例会での山行募集に関して、下記の再確認を行った。
 - ㊦ 山行リーダーは、募集用紙を地区の山行募集担当にメールで送付する。
 - ㊧ 山行募集担当は、印刷して高御位例会にて募集を行い、午後の運営委員会で各リーダーに渡す。
 - ㊨ 但し、山行リーダーは、自分の地区には自分で印刷して持参する。
 - ㊩ 印刷代の請求：山行募集担当は、3ヶ月毎に印刷代(1枚10円)を会計担当(矢根)に請求する。
 - ㊪ 受付担当は出欠表及び会計担当は会費集金名簿の印刷代の請求も行う。
(会計担当は、過去にさかのぼって請求する)
 - ㊫ 山行リーダーは、印刷代の請求を行わない。(印刷代は、山行時の事務費に含まれる)
 - ㊬ 山行リーダーは、編集委員会等で自分の地区以外の募集用紙を渡さない。(必ずメールで送付)
 - ④ 土曜トレの合同トレについて
 - ・2月26日の土曜トレ委員会で今後の計画を決めるが、1月から第4週の合同トレを再開する。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟：第5回常任理事会報告 10月26日

21年度 第3回運営委員会だより

開催日：2021-10-3(日) 於：ユーアイ帆っとセンター 13:00～

出席者：尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須曾、高島、瀧原、徳本
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、待場、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 事務局の担当内容と組織体制の再検討について
 - ① 現在の事務局の業務が担当範囲をかなり越えている部分もあり、他の部署での担当が妥当な部分の異動を行う。
 - ② 会報関係及び登山時報関係は、機関誌部に異動する。
 - ③ 労山基金関係は、安全対策部に異動する。
- (2) 新計画書作成名簿について
 - ① 現行の計画書作成名簿(meibo)は、会員の入退会で会員の連番が変わると内容が入れ替わり不都合が生じるため、固定の全国連盟の会員登録番号に変更した。
 - ② 山行計画書作成時、会員登録番号は4～5桁であり誤入力防止のため、番号入力が簡便なシートを作成した。
 - ③ 個人情報保護の観点から連絡体制表を廃止したので、連絡網のシートを削除した。
- (3) 地区別高御位例会の会場が使用できないときの対応
 - ① 現在三地区分割で高御位例会を開催しているが、年間行事等で会場が使用できない場合があり、会場予約に苦慮している。
 - ② 日程変更は、会員の予定や山行計画の絡みで困難である。
 - ③ 「かこむ」「ウエルネスパーク」「ユーアイ帆っとセンター」等での合同開催を検討したが、遠方でもあり、現行のままで継続することとする。
- (4) 女性委員会報告
 - ① 9月25日(土)に市ノ池研修棟で女性委員会を開催し、2022年1月～6月の計画を策定した。(11月号の会報に掲載する。)
- (5) 高森ボランティア
 - ① ㊦平荘湖嶽山、㊧市ノ池緑の相談所から登山口、㊨キャンプ場からの登山道、㊩高御位山裏ルートを検討している。
 - ② ㊨に関しては、雨の流水により道が掘れており、県の土木に土の搬入等の依頼が必要。
 - ③ ㊩に関しては、地形図に出ていないので、登山道として開拓したい。
- (6) 15周年記念品のサブザックの見積りを神戸ザックに依頼し、個人負担で希望者を募集する。
- (7) 救急セットの取り扱いについて
 - ① 高御位山遊会の対応：運営委員管理の救急セットで期限切れ品に対し、予算を確保して定期的に更新していく。
 - ② 運営委員の対応：個人使用物品は、自己管理で補充を行う。
 - ③ 一般会員の対応：個人で必要な救急用品や医薬品は携帯すること。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟：第4回常任理事会報告 9/28

21年度 第2回運営委員会だより

開催日：2021-9-5(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須曾、高島
瀧原、徳本、春本、平井、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 緊急事態宣言中の山行について
 - ・多人数での山行は密になり感染の可能性があり、例年以上に事故が多発している。医療機関への負担も考慮する必要がある、非常事態宣言中は山行を見合わせることにする。
- (2) 救急セット、ツェルトの運営委員への配備と定期的に期限切れの更新について
 - ①新運営委員5名に救急セットとツェルトを配布した。
 - ②三角巾は、各自で調達すること。
 - ③救急セットの期限切れの更新については、安全対策部で現状調査を行い、品目ごとに定期的に更新していく。
- (2) 事務局関連
 - ① 計画書作成名簿の内容再検討の課題について、全国連盟への会員登録番号との関連を
 - ・現行の計画書作成名簿(meibo)は、会員の入退会で会員の連番が変わると内容が入れ替わり不都合が生じる場合がある。
 - ・連番をやめて、固定の全国連盟の会員登録番号を使用することとする。
 - ・個人情報保護の観点から連絡体制表は廃止する。
 - ② 専門委員募集結果：10名の新規加入があった。別途組織体制表を修正して配布する。
 - ③ 高御位例会及び山行参加実績表について：今後、定期総会議案書への添付や表彰は行わないが、集計は継続していく。
- (3) 会則の改訂箇所についてー労山基金
 - ① 現行の高御位山遊会会則の労山基金細則では、会員は労山基金に加入することになっている。
 - ② 個人的な事情で今後山行に参加しない会員については、労山基金への加入を免除することを配慮し、会則の見直しを行う。
- (4) 土曜トレ委員会報告
 - ① 8月28日(土)に善防公民館で第1回土曜トレ委員会を開催し、2021年10月～2022年3月のコースリーダーを決めた。
 - ② 雨天などで土曜トレ実施が困難と思われる場合は、コースリーダーは参加者の確認に行かなくてもよい。参加者があった場合は、本人がコースリーダーに連絡する。
 - ③ 9月22日～23日の千町小屋合宿は中止する。
 - ④ 12月18日の高森ボランティアとの合同トレは、市ノ池が使用不可の場合、平荘湖で行う。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟：第3回常任理事会報告

21年度 第1回運営委員会だより

開催日：2021-8-1(日) 於：高砂市総合体育館 11:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須曾、高島
荘所、瀧原、竹内、徳本、野村、春本、平井、藤本、待場、松下、三木(悦)、森本
安田、矢根、和田

議題

(1) 組織体制の確立について

- ①各専門部担当者の確認を行った。特にメンバー変更が多数の事務局や名称変更・業務の見直しを行った安全対策部を重点に実施した。
- ②9月の高御位例会で専門委員の募集を行う。

(2) 初めての山歩き教室※終了山行・氷ノ山を終わって

- ①7月17日(土)～18日(日)に民宿「やねや」泊で教室生8名を含め13名で実施した。
1泊2食(夕食、朝食：弁当)で6,500円だった。
- ②レンタカー1台と乗用車2台を使用し、1台は親水公園で回送用に駐車した。
初日は、高丸山から鉢伏山に登り鉢伏高原スキー場へ下山した。
- ③翌日は弁当持参で朝6時に出発し、東尾根・避難小屋・神大ヒュッテを経て氷ノ山に登頂し、氷ノ山越えから親水公園へ下山した。
- ④コースタイムは、ほぼ標準タイムで全員無事下山した。

(3) 10月23日(土)～24日(日) 20周年記念山行・納山会「氷ノ山」の計画について

- ①民宿「やねや」に宿泊する予定。最大40名
- ②氷ノ山頂上へは次の3コースを計画する。
 - ・東尾根登山口、東尾根避難小屋、神大ヒュッテから。
 - ・最長コースで東端のまど登山口から回り込んで東尾根、神大ヒュッテから。
 - ・大段ヶ平、神大ヒュッテから。
- ③9月の高御位例会で募集を行う。

(4) 高御位山遊会15周年記念品としたサブザックについて

- ・神戸ザックに見積もりを依頼し、個人負担で希望者を募集する。

(5) その他

- ①救急セットの確認：安全対策部から運営委員に内容確認依頼を出す。三角巾を含め、不足分を購入する。
- ②今年は山の日(8月8日)の行事を行わない。

全国・県連盟の行事その他の取り組み

県連盟：常任理事会報告「六甲全山縦走検討委員会」7/29、「六甲山トイレ問題」8/2